

## 第 10 次答申における今後の検討課題及び関連の諸施策

## 今後の検討課題

1. 二輪自動車等の排出ガス低減対策
  - ・ 二輪車モードの見直し、過渡サイクルの導入の検討
  - ・ 過渡サイクルである二輪車の世界統一試験方法（WMTC）の導入の検討
  - ・ 排出ガス規制強化
2. 特殊自動車の排出ガス低減対策
  - ・ ガソリン・LPG 特殊自動車に係る過渡サイクルの導入、排出ガス規制強化
  - ・ 使用過程ディーゼル特殊自動車のオパシメーターによる測定への変更
  - ・ ブローバイガス低減対策
3. 乗用車等の排出ガス低減対策
  - ・ 乗用車の世界統一試験方法（WLTP）の検討進捗状況を踏まえ、JC08 モードの見直し、WLTP の導入
  - ・ 低燃費技術と排出ガス低減技術両立に配慮した排出ガス規制強化
4. ガソリン重量車の排出ガス低減対策
  - ・ オフサイクル対策、高度な OBD システムの導入
  - ・ 排出ガス規制の強化
5. NO<sub>x</sub> 後処理装置導入に伴う課題
  - ・ 使用過程における NO<sub>x</sub> 後処理性能の確保
  - ・ N<sub>2</sub>O、アンモニア等未規制物質対策
6. 微小粒子状物質等に関する課題
  - ・ 粒子数で評価する方法の検証
  - ・ PM<sub>2.5</sub> に対する総合的な対策を検討する中で、自動車に必要な対策を検討
7. 燃料蒸発ガスに関する課題
  - ・ VOC に対する総合的な低減対策を検討する中で、自動車の排出ガス低減対策及び燃料規格のあり方を検討
8. バイオディーゼル燃料等による排出ガスへの影響に関する課題
  - ・ 新長期規制や 09 年規制に適合したディーゼル車にバイオディーゼル燃料を使用した場合の排出ガスへの影響を調査し、必要な対策を検討
9. 自動車基準の国際調和の推進
  - ・ 排出ガス試験方法等の国際基準調和活動に積極的に貢献し、可能な範囲で、国際的な基準調和を図る
10. 自動車の特性に応じた環境性能評価法の開発
  - ・ 路線バス等、自動車の特性に応じた統一的な環境性能評価法の検討

## 関連の諸施策

- 1．自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法に基づく施策等総合的な自動車排出ガス対策の推進
  - ・ 自動車 NO<sub>x</sub>・PM 法に基づく車種規制、事業者排出抑制対策、局地汚染対策等の着実な実施
  - ・ 使用過程車における点検・整備の励行、車検及び該当検査による良好な排出ガス低減性能の維持
  - ・ 使用過程車に係る排出ガス水準の設定、抜き取り検査（サーベイランス）の導入方策等の検討
  - ・ アイドリング・ストップ等のエコドライブの推進
- 2．低公害車の普及促進
  - ・ 低公害車に対する税制優遇、補助、融資精度等の普及施策の推進
- 3．大気環境の状況把握、測定精度向上
  - ・ 自動車排出ガス低減対策効果の把握体制の整備等
- 4．自動車以外の未規制物質対策
- 5．金融・税制面での配慮